

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境			0.40		-			3.2
1 音環境		2.9	0.15	2.9	1.00			2.9
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		3.8	0.40	3.9	0.40			
1 開口部遮音性能	T-2以上	5.0	0.40	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	2.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	LL-40	3.0	-	5.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	LH-50	3.0	-	4.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	3.0	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.3	0.25	3.8	1.00			3.5
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	共用部:10.5%、住居部:3.2%	5.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御	ゾーン毎、個室は点灯・消灯は手動制御できる。	3.0	0.25	5.0	0.25			
4 空気環境		3.5	0.25	3.6	1.00			3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	仕上げ及び下地材は全てF☆☆☆☆としている	4.0	1.00	4.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	0.20	3.0	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	3.0	-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00	3.0	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.2
1 機能性		3.6	0.40	4.2	1.00			3.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	個室面積12.14㎡/床以上	3.0	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.30	3.0	0.40			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		5.0	0.30	5.0	-			
1 維持管理に配慮した設計	風除室の1次扉と2次扉が同時に開かない様に2.7mの距離を確保、外部に露出する金属部材はアルミ材を使用。外壁は超低汚染外装材料使用。	5.0	0.50	5.0	-			
2 維持管理用機能の確保	各階汚物室にskを設置。天井隠蔽機器の点検口は600角を採用。	5.0	0.50	5.0	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	3.1	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.4	0.50	3.4	-			
1 耐震性		3.0	0.80	3.0	-			
2 免震・制振性能	免震装置を導入している	5.0	0.20	5.0	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	2.8	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	3.0	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	2.0	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	3.0	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	3.0	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	3.0	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	3.0	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.2	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	地域防災無線の聞こえる範囲	4.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			2.5	0.30	2.7	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		2.4	0.30	2.4	0.50	
	2	空間の形状・自由さ		2.0	0.60	2.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.40	3.0	0.40		
3.3 設備の更新性			2.0	0.30	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性		3.0	0.40		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.7	
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0	
2 まちなみ・景観への配慮		雁行配置や緑地帯による周辺環境への圧迫感の低減	4.0	0.40		-	4.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30		-	4.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		建物周囲に視線を遮らない木を配置。ラウンジにテラスを設け内部空間と連続させている。	5.0	0.50		-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5	
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.88	3.0	0.20		-	3.0	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0	
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.80 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50		-	4.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI _m =0.8	4.0	1.00		-		
	集合住宅の評価(3c)		-	-		-		
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0	
集合住宅以外の評価	4.1	モニタリング	3.0	1.00		-		
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50		-		
集合住宅の評価	4.1	モニタリング		-		-		
	4.2	運用管理体制		-		-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2	
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4	
1.1 節水		自動水栓に加えて節水型便器を採用。	4.0	0.40		-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.60		-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30		-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		-	3.0	
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20		-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のデティールを採用。OAフロアの採用。	5.0	0.20		-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-		
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-		
1	消火剤		-	-		-		
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いた断熱材でノンフロン/ハロンのアクリルアクリルFR-NF採用	5.0	0.50		-		
3	冷媒		3.0	0.50		-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3	
1 地球温暖化への配慮		LCCO ₂ 排出率=84%	3.6	0.33		-	3.6	
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1	
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25		-		
1	雨水排水負荷低減		-	-		-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-		
3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場、管理用車輛(車椅子使用者)の駐車施設	4.0	0.33		-		
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの分別回収、各階フロアに分別ゴミ箱の設置(備品にて)。ビン、缶等の減量対策として紙コップ式の自動販売機等を設置、事業用品等は極力詰め替え式のものを採用予定。	4.0	0.33		-		
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-		
1	騒音		3.0	1.00		-		
2	振動		-	-		-		
3	悪臭		-	-		-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-		
1	風害の抑制		3.0	0.70		-		
2	砂塵の抑制			-		-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-		
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明なし	4.0	0.70		-		
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-		